

平成17年度伊賀市の家計簿

平成17年4月1日から平成18年3月31日までの各会計予算の執行状況（3月31日現在）や、財産と負債の状況をお知らせします。
なお、各会計の収入済額および支出済額の中には、平成18年4月1日から5月31日までの出納整理期間における収入・支出の額は含まれていません。

地方財政は、税収入が回復傾向にある一方で、公債費が依然高水準にあることや社会保障関係経費の自然増があることなどにより深刻な財源不足に直面しています。伊賀市においても借入金残高が累積しており、この元利償還が財政を圧迫し極めて厳しい状況にあります。

また、景気は回復を続けていますが、民間需要主導の持続的な経済成長を図るため、引き続き各分野にわたる構造改革を断行することが求められています。

このような状況の下で当市が、市民の要望に応じてその機能を適切に果たしていくためには、徹底した行財政改革に取り組み、財政体質の健全化に努める必要があります。

平成17年度の決算見込みでは、市税、地方交付税などの歳入が予算額を上回る事が予想され、歳出においても各経費について不用な支出を抑え、不用額を生じることが見込まれますが、決算の状況は、11月にお知らせいたします。

平成18年5月

伊賀市長 今岡睦之

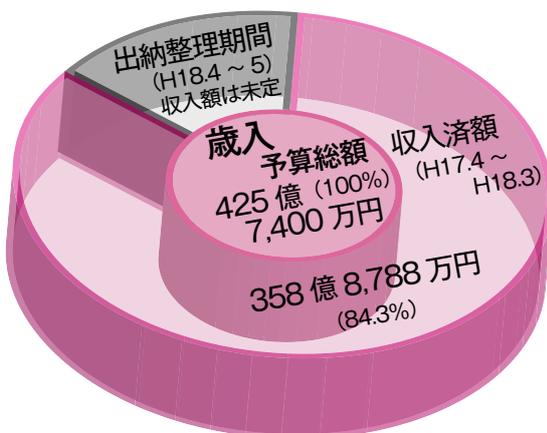
【一般会計】

歳入の状況

歳入では予算総額425億7,400万円に対し、収入済額は358億8,788万円となり、予算総額に占める割合は84.3%となっています。

このうち、市の予算を支える市税の収入は130億6,109万円で、収入済額に占める割合は36.4%となっており、市税の予算額に対しては101.7%の収入となっています。

一方、市が借金するお金である市債の収入済額は7億6,820万円で、市債の予算額に対し16.5%の収入となっています。これは、5月に借りる金額が多いためです。



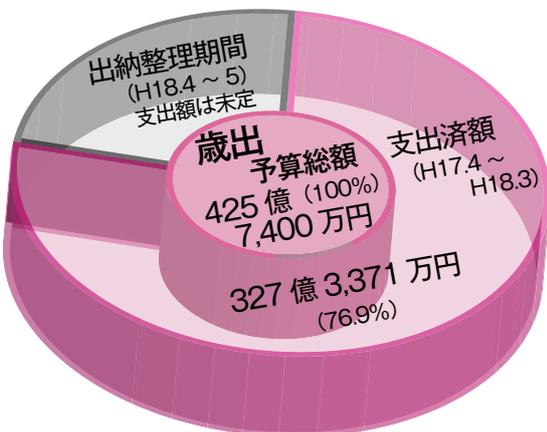
■市民一人当たりが負担する税額
12万4,658円（予算額に対して）

歳出の状況

歳出では予算総額425億7,400万円に対し、支出済額は327億3,371万円となり、予算総額に占める割合は76.9%となっています。

このうち、児童・障がい者・高齢者福祉などの経費である民生費の支出済額は94億9,486万円で、支出済額に占める割合は29.0%となっており、民生費の予算額に対しては83.9%の支出となっています。

また、市の借金を返済する経費である公債費の支出済額は57億254万円で、公債費の予算額に対し、約100%の支出となっています。



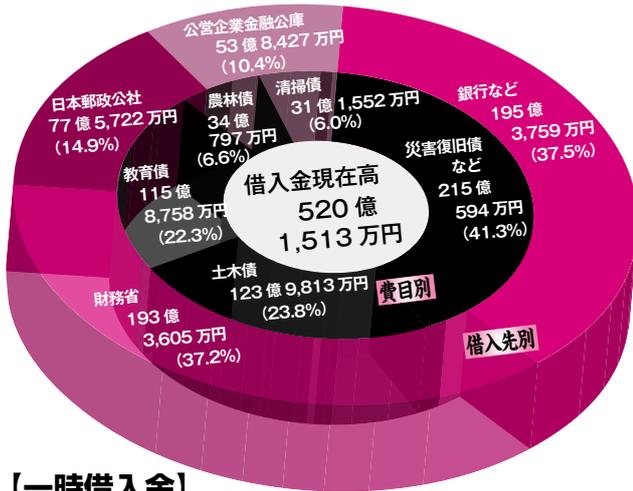
■市民一人当りに使う費用
4万1,320円（予算額に対して）

市税の状況

市民の皆さんに納めていただいた税金のうち、固定資産税がもっとも多く収入済額は76億2,841万円で、市税の収入済額に対し58.4%を占めています。また、市民税の収入済額は45億2,846万円で、市税の収入済額に対して34.7%となっています。

*予算額が1千円のため、0万円表示としています。
◀収入割合は、円単位で算出した数値を記載

区分	予算額	収納額	収入割合%
市民税	44億7,898万円	45億2,846万円	101.1
固定資産税	74億955万円	76億2,841万円	103.0
軽自動車税	1億9,606万円	1億9,501万円	99.5
市たばこ税	6億6,062万円	6億830万円	92.1
鉦産税	32万円	20万円	64.6
特別土地保有税	0万円*	102万円	101980.0
都市計画税	918万円	1,294万円	140.9
入湯税	8,575万円	8,675万円	101.2
計	128億4,046万円	130億6,109万円	101.7



【一時借入金】

一時借入金とは、支払いのための現金不足を補うために借り入れる資金で、同じ会計年度中に返済されるお金です。3月31日現在、国民健康保険事業で4億9,000万円を借り入れています。

一般会計の市債（市の借金）の状況

3月31日現在、一般会計で520億1,513万円の借金があります。

借入先別では、銀行などから借りている額が195億3,759万円で全体の37.5%を占めています。

費目別では、道路や下水道などの整備のために借りた土木債が123億9,813万円で全体の23.8%を占めています。

【特別会計・財産区特別会計】

市には、国民健康保険事業など10の特別会計と2つの財産区特別会計があります。

それぞれの収入・支出の状況は下の表のとおりです。

12の会計の収入済額は246億5,070万円で、予算額に対し83.1%となっています。支出済額は252億4,769万円で、予算額に対し85.1%となっています。

また、特別会計の借入金残高は、136億6,038万円となっています。

特別会計 歳入歳出の状況

	会計名	予算額 A	歳入		歳出	
			収入済額 B	B/A%	支出済額 C	C/A%
特別会計	国民健康保険事業	87億5,463万円	72億5,778万円	82.9	76億3,295万円	87.2
	簡易水道事業	24億3,736万円	12億2,234万円	50.2	12億585万円	49.5
	住宅新築資金等貸付	2億1,813万円	1億4,328万円	65.7	2億1,673万円	99.4
	駐車場事業	6,005万円	5,675万円	94.5	2,780万円	46.3
	老人保健事業	98億9,600万円	88億7,399万円	89.7	91億9,372万円	92.9
	介護保険事業	63億1,252万円	57億242万円	90.3	55億4,874万円	87.9
	農業集落排水事業	10億9,825万円	8億6,515万円	78.8	9億248万円	82.2
	公共下水道事業	7億6,570万円	4億6,500万円	60.7	4億6,991万円	61.4
	浄化槽事業	5,397万円	844万円	15.6	3,123万円	57.9
	サービスエリア事業	1,270万円	1,105万円	86.9	918万円	72.2
財産区	島ヶ原財産区	3,749万円	3,807万円	101.5	572万円	15.3
	大山田財産区	643万円	643万円	100.0	338万円	52.7
	計	296億5,323万円	246億5,070万円	83.1	252億4,769万円	85.1

◀B/AとC/Aの割合は、円単位で算出した数値を記載

特別会計 市債の状況

会計名	H18.3.31 末残高	内訳	
		借入先	H18.3.31 末残高
国民健康保険事業 (直営診療所)	2,629万円	財務省	2,629万円
簡易水道事業	36億2,247万円	財務省	30億5,357万円
		公営企業金融公庫	5億6,890万円
住宅新築資金等貸付	5億7,681万円	日本郵政公社	5億7,681万円
介護保険事業	980万円	銀行など	980万円
農業集落排水事業	77億2,679万円	財務省	47億449万円
		公営企業金融公庫	28億3,899万円
		銀行など	1億8,331万円
公共下水道事業	16億7,502万円	財務省	10億3,911万円
		公営企業金融公庫	6億3,591万円
浄化槽事業	2,320万円	財務省	2,320万円
計	136億6,038万円	計	136億6,038万円

【基金】

基金とは、家計に例えると貯金のようなものです。

3月31日現在、基金の総額は110億2,419万円で、このうち土地は19,734.23㎡です。

主なものは次のとおりです。

- ・財政調整基金
22億8,731万円
- ・公共施設等整備事業基金
11億6,290万円
- ・地域福祉基金
3億2,956万円
- ・観光振興基金
3億9,292万円